



### 地域づくりを担う未来対応型リーダー人材育成プログラム in 糸満市

放送大学沖縄学習センターでは、琉球大学農学部・日本水環境学会・糸満市土地改良区と共同で、農山漁村地域活動の活性化に資する生涯教育の場を提供しています。昨年11月から始めたこの活動も1年が経過し、ますます活発になってきました。今回は、12月10日に真壁小学校で行われた出前講座の様子をご報告します。

**H26 12/10 (水)**

**出前講座！！ in 真壁小学校**

#### 4つのテーマ

- 米須地下ダムの水や肥料を使って農産物ができるまでを勉強しよう！
- 糸満市の農産物が市場で売られ消費者に届けられるまでを勉強しよう！
- 米須地下ダムの農業と農地を守る取り組みを勉強しよう！
- 米須地下ダムの水と海の水のかかわりを勉強しよう！



①朝8時半集合。一緒に勉強する4年生の皆さん。  
新垣忠是 校長先生のご挨拶。



②まずは黒糖づくりの体験からスタート！さとうきびを圧搾する作業。



③地下ダム見学。高い壁の向こうでは地下水がせき止められ、農業用水として供給されています。



④海辺に移動。水を採取して電気をどれだけ通すか計測。地下水が海に流れてきていることが分かりました。



⑤農地を見学。ベチバーという植物を植えて根を張らせ、土の流出を防いでいることを勉強しました。



⑥ファーマーズマーケットで、農家さんにインタビュー。ここでは、搬入から陳列までを農家さんが自分で行い、価格も決めています。



⑦一日を通して学んだことを、グループごとに発表しました。

放送大学沖縄学習センター客員教授・琉球大学農学部教授の中野先生が中心となり、大学生と糸満市土地改良区の皆さんが真壁小学校の皆さんをサポートする形で、わきあいあいとした出前講座になりました。

参加者全員が、これまで知ることのなかった地下ダムと農業との関係、農産物が売り場に並ぶまでを、現場で具体的に学び、とても有意義な時間を過ごすことができました。